

【かんたんガイド】SwitchBotPlugMini_Eyeアプリ

このアプリは、「Windowsパソコンの視線入力で、家電品(扇風機やライトなど)をON/OFFする」ために作ったツールです。基本的にマウスポインターの操作で使えますので、視線入力だけでなくZonoやJINS ASSIST等によるヘッドトラッキング入力やポインティングデバイス(マウス、トラックパッド、トラックボール、ジョイスティック型マウスなど)に入力できればOKです。

1. 準備するもの

(1) Windowsパソコン: 視線入力装置(Tobii Eye Tracker 5など)と視線マウスアプリが動いているもの。

※ 視線入力では使わないという場合、視線入力装置と視線マウスアプリは必要ありません。

※ 視線マウスアプリとは、EyeMoT Mouse、Mill Mouse、miyasuku EyeConLT2などのことです。

(2) SwitchBotプラグミニ: コンセントに差し込んでおきます。

(3) 動かしたい家電品: SwitchBotプラグミニに差し込み、主電源スイッチを「ON」にしておきます。

(4) Webカメラ: 必須ではありませんが、動かしたい家電品をユーザーに認識してもらいやすくなるので便利だと思います。

(5) SwitchBotアプリをインストールしたスマートフォンとWi-Fi: 初期設定の時に必要です。

※ 初めてSwitchBot製品やSwitchBotアプリを使う方は、こちらのサイトを読んで設定しておきましょう。→



<https://bot-lab.tech/switchbot-howtouse/>



2. スマートフォンでSwitchBotプラグミニのBluetooth用MACアドレスを調べます

(1) SwitchBotプラグミニをコンセントに差し込みます。

(2) スマートフォンのSwitchBotアプリを立ち上げます。



SwitchBotアプリをタップします 【デバイスを追加】をタップします 下から上にスクロールします 【プラグミニ(JP)】をタップします 【次へ】をタップします

(3) 使用するSwitchBotプラグミニのBLE-MACを調べてメモしておきます。



SwitchBotプラグミニの本体側面にある
電源ボタンを2秒ほど長押しして、
本体表面にあるランプを点滅させます

ランプが点滅したら【次へ】をタップします

BLE-MACの右に表示された

文字列をメモしておきます

例 → A0:E3:2C:4E:31:DE

3. 支援者が次の設定をします

アプリ【SwitchBotPlugMini_Eye.exe】を [GitHubのダウンロード先](#) からダウンロードしたらダブルクリックして起動しましょう。

(1) SwitchBotプラグミニを探す

① 【🔍SwitchBotプラグミニを探査】ボタンを左クリックします。

・5秒ほどで自動的にSwitchBotプラグミニを見つけます。

・【🔍SwitchBotプラグミニを探査】ボタンの右の文字が「スキャン待機中」→「スキャン中...」→「完了」になればOK。

② 【ペアリング】の右にある枠の下向きV印を押して、2. (3)でメモしたBLE-MACと同じ文字列を探して左クリックします。

③ 【接続】ボタンを左クリックします。

・【🔍SwitchBotプラグミニを探査】ボタンの右の文字が「接続中...」→「接続完了」になればOK。

(2) カメラを選ぶ

スイッチONボタン(緑色の四角)に家電品が映るようにしたい時には「カメラ1」または「カメラ2」を選んでください。

※「カメラ」は外付Webカメラ(USB接続)、ノートパソコンのインカメラ、iVCamなどが自動で選ばれます。

※外付けWebカメラのみ使用したい場合は、Windowsの設定アプリから Bluetoothとデバイス>カメラ>接続済みカメラに表示される外付けWebカメラ以外のカメラを無効にしてください。

(3) 操作音の有無を選ぶ

SwitchBotプラグミニがONになった時とOFFになった時に音が鳴ります。

音を鳴らしたくない場合は□を左クリックしてチェックマークをはずしてください。

※使用するWindowsパソコンの機種によっては音が鳴らないことがあります。

(4) 動作モードを選ぶ

①クリック/注視でタイマー実行:ボタンの中でマウスクリックすれば、タイマー設定した時間、家電品ON。

②マウスオーバーでタイマー実行:マウスポインターがボタンの中に入った瞬間、タイマー設定した時間、家電品ON。

③マウスポインターがボタン内にある間ON:マウスポインターがボタンの中にある間ずっと家電品ON。

※視線入力装置と視線マウスアプリを使ってマウスポインターを視線で動かせば上記3つの動作モードが働きます。

※注視時間は視線マウスアプリで決めてください。

※①②でタイマーが実行されて家電品がONになると「実行中○秒」という文字がカウントダウン表示されます。

※③で家電品がONになると「実行中」という文字が表示されます。

※動作モード①②③はラジオボタンだけでなく、キーボードの[1][2][3]を押して切り替えることもできます。

(5) タイマー秒数を決める

動作モード①や②を選ぶ場合、スライダーを動かして1秒～180秒でタイマー設定(=設定した時間、家電品ON)します。

(6) ボタンサイズを選んで適切な場所に配置する

スイッチONボタン(緑色の四角)はサイズが特大・大・中・小から選べて、ドラッグ操作で配置場所が移動できます。

(7) 全画面表示ができます

キーボードの[F11キー]を押すと、全画面表示とウィンドウ表示を切り替えることができます。

※全画面表示でキーボードの[ESCキー]を押すとウィンドウ表示に替わります。

4. ユーザーが操作してみましょう

設定が終わったら、画面中央の緑色の四角形が家電品を動かす(=家電品のスイッチをONにする)ボタンになります。

・家電品を動かす:緑色の四角形のボタンの中にマウスポインターを動かしましょう。

・ONのしるし:家電品がONになると緑色の四角形のボタンの枠が 赤色 になります。

